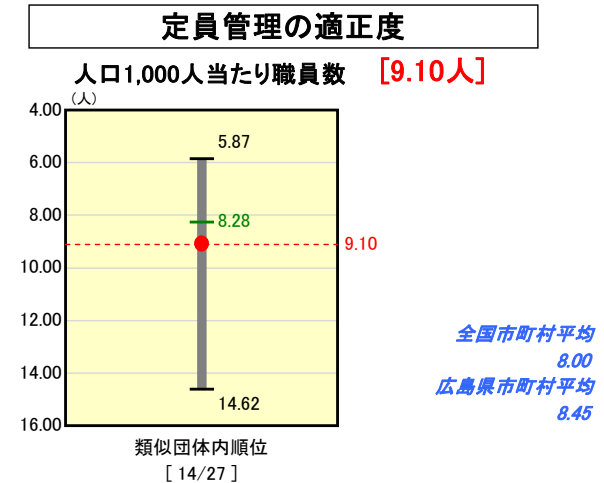
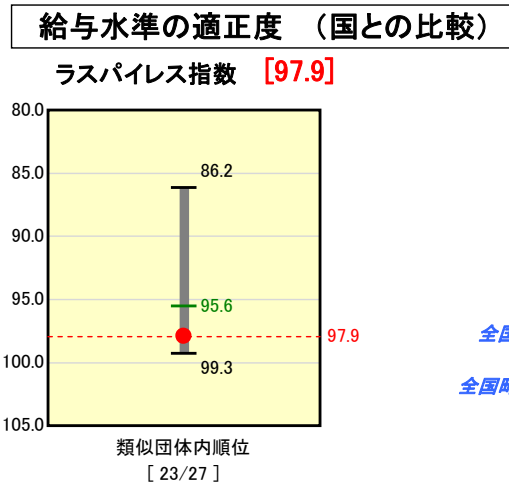
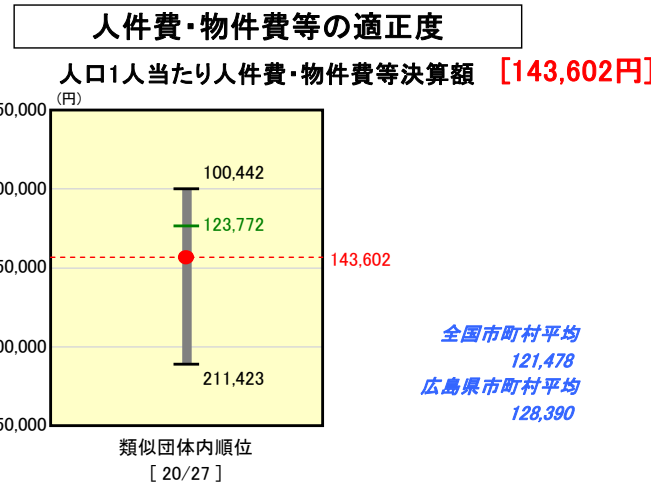
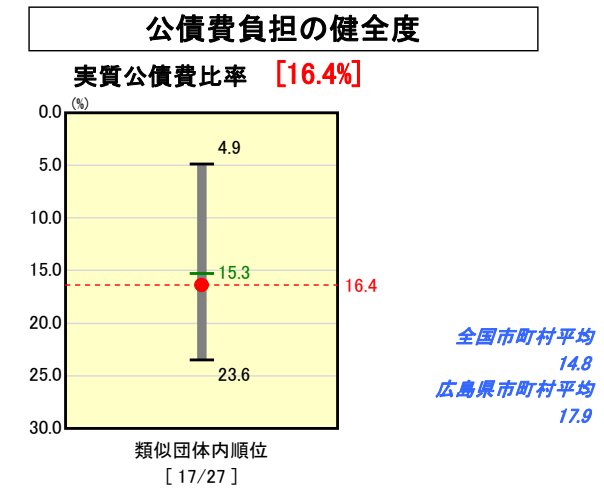
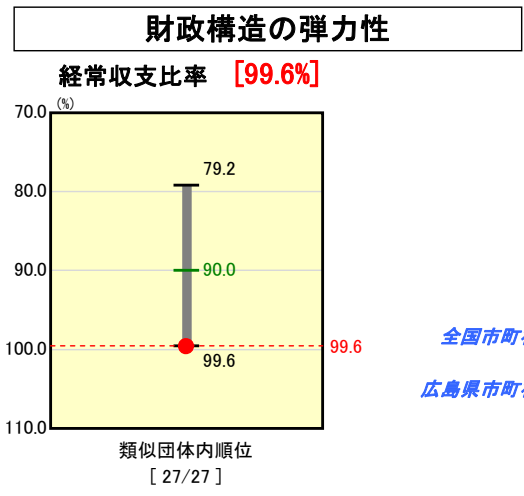
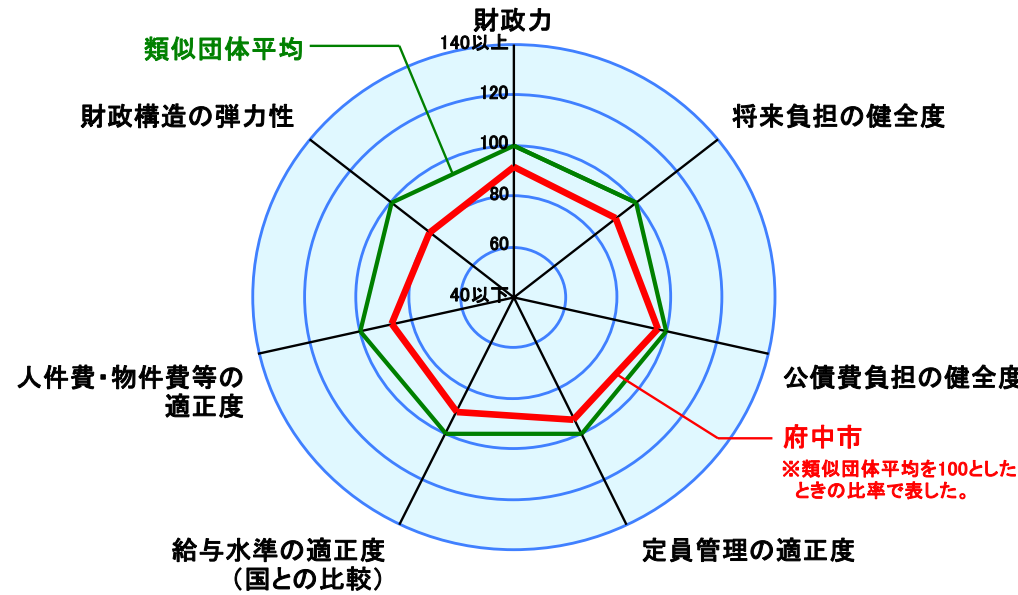
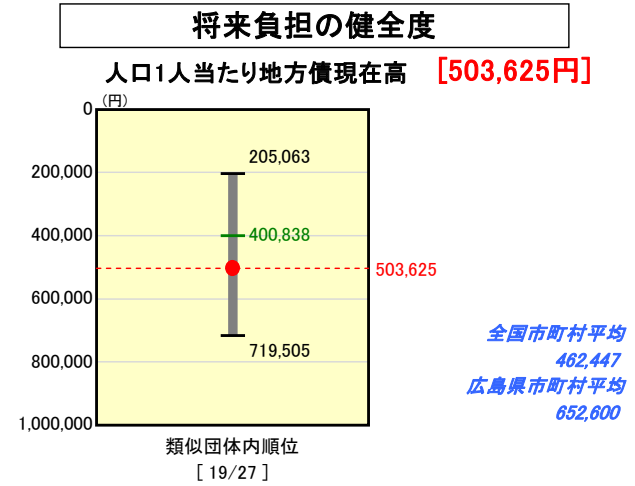
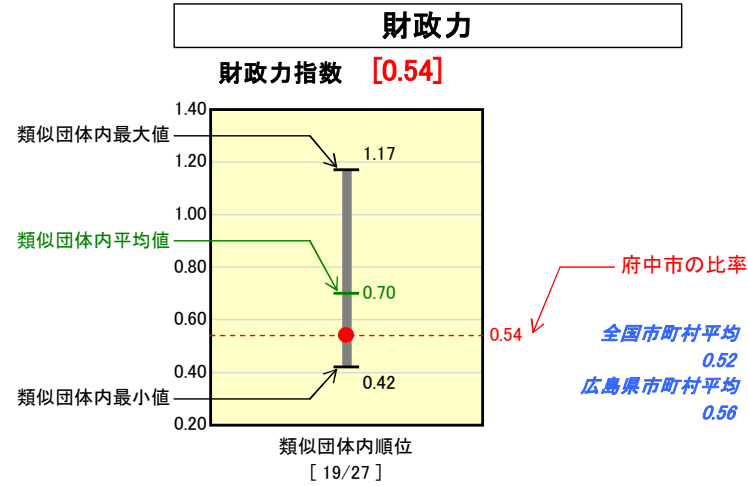


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

広島県 府中市

人口	46,278人	(H18.3.31現在)
面積	195.71	km ²
歳入総額	20,389,514	千円
歳出総額	20,203,908	千円
実質収支	149,047	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
・類似団体平均を下回っているものの、前年度比率から0.02改善された。今後も、税制改正と景気回復に伴う市税の増収により、さらなる改善を見込んでいる。

【経常収支比率】
・全国市町村等平均よりも比率は高いが、人件費の削減及び市税の増収に伴い、前年度比率から2.5改善された。集中改革プランに掲げた「平成21年度までに経常収支比率を97.7%とする。」という目標を達成するよう、今後とも人件費を中心とした経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
・人件費及び維持補修費は減少傾向にあるが、全国市町村等平均よりも比率が高い。これについては主に人件費が要因となっており、集中改革プランに基づき、引き続き削減に努める。

【ラスパイレス指数】
・集中改革プランに掲げる人件費の削減を着実に実行するとともに、時間外勤務手当及び特殊勤務手当の見直し等を行い、指数の上昇を抑えていく。

【人口1人当たり地方債現在高】
・合併特例債(合併特例事業)の発行により、平成21年度までは増加の見込みである。今後は、事業の選択と集中を徹底し、起債発行の抑制を図る。

【実質公債費比率】
・起債許可団体となる18%は超えてはいないものの、類似団体平均を上回っている。合併特例債等の元利償還金及び地方公営企業への繰出金等による準元利償還金による比率の上昇を防ぐため、有益な事業の実施及び独立採算の原則を念頭においた地方公営企業の経営に努める。なお、集中改革プランに基づき、平成21年度までに下水道使用料等の見直しを行い、他会計への繰出金を削減することにより、200(百万円)の財政効果額を見込んでいる。

【人口1,000人当たり職員数】
・集中改革プランに基づき、平成17年4月1日現在の職員数445人を平成22年4月1日に398人とする。なお、将来的に職員1人あたりの住民管理数を105人とするため、平成19年度以降は新規採用者の補充を定年退職者の2割程度とする。